

●中国・北京市および瀋陽市における観光 PR の実施について

「平成 30 年北海道胆振東部地震」の影響により減少している外国人観光客数の回復に向け、秋元市長が中国・北京市および友好都市である瀋陽市を訪問し、観光 PR を行います。

このたびの地震では、道内の宿泊キャンセルが 9 月だけで延べ 114 万 9 千人、観光への影響額も 356 億円に上っており、今後も海外からの来札・来道者数が減少し、観光事業や札幌・北海道経済への影響が続くことが懸念されます。

こうした影響を最小限に抑えるため、冬の観光シーズンを前に、来札観光客数が最も多い中国において、経済界・観光業界と共にトップセールスを実施し、地震発生前と変わらず、「札幌で観光を楽しむことができる」というメッセージを現地関係者などに向けて強く発信してまいります。

1 訪問の概要

(1) 訪問先

中国・北京市、瀋陽市

(2) 訪問団

- ① 札幌市：秋元市長、小西 正雄・経済観光局長 ほか 6 人
- ② 札幌商工会議所：星野 恭亮・副会頭 ほか 4 人
- ③ 札幌観光協会：柴田 龍・会長（札幌商工会議所副会頭） ほか 1 人

(3) 滞在期間：11 月 4 日（日）～6 日（火）（3 日間）

(4) 主なスケジュール

日時		主な公務
11 月 4 日（日）		瀋陽着
11 月 5 日（月）	午前	瀋陽市長表敬訪問【瀋陽市】
	午後	在中国日本国大使館訪問【北京市】
	夜	中国日本友好協会訪問【北京市】
11 月 6 日（火）		帰札

2 主な PR 内容等

(1) 瀋陽市

- ・観光 PR（メディアへの出演を調整中）
- ・今後の更なる交流促進に向けた意見交換
- ・震災後にいただいたお見舞いへの感謝の意の表明

(2) 在中国日本国大使館

- ・大使館を通じた現地での観光 PR に係る情報発信依頼

(3) 中国日本友好協会

- ・現地のキーパーソンに向けた観光 PR
- ・当団体のネットワークを生かした情報発信依頼

<参考>

1 2017 年度の来札観光客数の状況

(1) 来札観光客数

2017 年度に札幌を訪れた観光客は、過去最多 の約 1527 万 1 千人 で、前年度の約 1388 万人と比較すると約 139 万 1 千人（前年度比 10%）の増加。

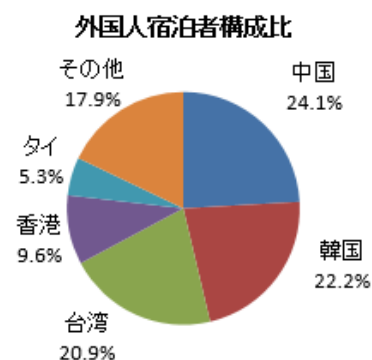
(2) 外国人宿泊者数

外国人宿泊者数は約 257 万 2 千人 で、6 年連続で 過去最多 を更新し、2016 年度の約 209 万 3 千人と比較すると約 47 万 9 千人（前年度比 22.8%）の増加。

【国・地域別の外国人宿泊者数】

順位	国・地域	宿泊者数	対前年度比	前年度 順位
1 位	中国	619,360 人	22.3%増	1 位
2 位	韓国	571,824 人	41.8%増	3 位
3 位	台湾	537,494 人	19.3%増	2 位
4 位	香港	246,404 人	16.0%増	4 位
5 位	タイ	136,070 人	8.6%減	5 位

※ 上位 5 つの国・地域で全体の 82.1%を占めている。



2 瀋陽市長からの地震に対する見舞状（別紙参照）

問い合わせ先

（訪問スケジュール・瀋陽市長表敬訪問について）

総務局国際部交流課 岩立、北舘

電話：211-2032、ファクス：218-5168

（観光 PR について）

経済観光局観光・MICE 推進部観光・MICE 推進課（観光誘致・受入担当） 吉岡

電話：211-2376、ファクス：218-5129

瀋陽市人民政府

尊敬する日本札幌市

秋元克広 市長

9月6日未明、強烈な地震が発生し、多くの建物の倒壊、断水や停電、公共交通の麻痺、負傷者の発生など、札幌市民の日常生活に影響を及ぼし、市民の生命や財産に大きな損害を受けたということを聞き驚きました。瀋陽市人民政府と瀋陽市民は今度の災害に非常に関心を持っております。ここで、私は瀋陽市人民政府と瀋陽市民を代表して、貴市に対して心よりお見舞いの意を表するとともに、貴市政府を通して罹災者そして罹災者の家族にもお見舞いの意を表したいと思いをします。

災害対応のため、第18回世界冬の都市市長会議に出席できないことを理解しております。我々は必ず市長会議の主旨に沿って今回の会議を開催し、素晴らしい成果をたくさん残す盛会となるようにしたいと思います。

秋元克広市長及び貴市民が一日早くこの自然災害に打ち勝ち、再建し、普通の生活に戻れるよう心から祈っております。

瀋陽市人民政府
市長 姜有為
2018年9月8日